

福岡市とその周辺 歴史と文学の散歩みち ⑦

前原市

平原など古墳いろいろ

郷土作家 観世広



①

前原市といえば伊都(怡土)の国。その名があまりに名高いので、今さらここに採り上げるのもためらわれるくらいである。おまげに同市には「伊都歴史資料館」(大字井原916、



②

写真①)という立派な施設がある。その上に書籍も数多く出ていて、つい最近の'01年4月にも『伊都国遺跡ガイドブック』(糸島新聞社)が刊行されている。



③

だから歴史的な意義などの説明はそちらに任せずるとして、ここでは例の如く、気軽なカメラ散歩に徹するとしてよう。数多い同市の遺跡の中でも、



④

まずこれだけはお忘れなく、と言つべきは「平原遺跡」であろう。今は立派な石碑が建っていて(写真②)、墳丘墓(写真③)の周辺を整備して、小ぶりながら公園になっている(写真④)。全国屈指の大きさを誇る銅鏡が出土した場所、その姿が同地の石碑に刻み込んであるし、実物は前述の資料館で見ることが出来る。ちょっととめずらしいのは、入り口に俳句を5句彫った石碑があることで、これは現代の市民の作のようだ(写真⑤)。

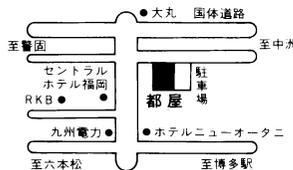
☆末崎修さん(レルボシア・ミン) 24時間営業の美容室お好きな時間いつでもご予約☆

ハッピーギフトをお届けする...



記念品・販促用品・中国掛軸・広告マッチ

旅行業も致しております。



(株) 都屋

本社 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3丁目6番22号  
 TEL (092)771-8833(代表)  
 ラッキイ ババサン

小売部 TEL (092) 741-5558  
 FAX (092) 781-5221



「牛蒡寺く赫き土より弥生土器／平山久子」  
 「銅鏡の秘むるまぼろし銀河濃し／川上清子」など。  
 一帯は静かな農村風景が広がっているのだが、それにしても無造作な、と言いたくなるほどに、周辺にいくつもの古墳の姿が残されている。  
 まず**銭瓶古墳**(写真⑥)。これは道路で少し削られているが、もともとは前方後円墳。家形の埴輪が出土したことも知られる。平原歴史公園の東側バス道路を、約700m南進



「**誂紳志のタケハラ**」  
 川端通り(二七〇二九八一)  
 そこを東へ少し歩いて行くと、今度は円墳があらわれた。塚古墳(写真⑦)といわれている。本来は周囲に溝が掘られていたらしいが、今は埋め戻されていて見れない。  
 近くに細石(佐々礼石)神社がある(写真⑧)。祭神はコノハナサクヤ姫とイワナガ姫。その説明板によれば「豊臣秀吉により神田没収の記録がした所にある。」



あるが、それ以前は不明」とのこと。しかし神社名が面白いので手元の資料で調べてみると「当社は中世の九州兵乱で焼失。明治5年に村社に定められた」と。残念ながら神社名の由来については記されていない。  
 付近は三雲地区で、三雲神社とも呼ばれている。  
 お宮の西南西約300mにある三雲南小路遺跡(写真⑨)はちょっとした広場になっている。説明板が建っているくらいである。しかしもともとは





**誂紳士のタケハラ**  
川端通り(二七)・(二九八)

伊都王の墓地だった所といわれている。その発見は古く、江戸時代(文政5=1822年)にさかのぼるといふから、古代伊都国研究の発端となった場所とも言えようか。

そして神社の東側300mたらず。三雲東公民館の横に小山

があって、観音様が祀ってあった。しかしこれも古墳(写真⑩)。壺型の埴輪が出土した所。公民館のあるあたりが後

円部に当たり、形が一部破壊されているが、もともとは前方後円墳だったらしい。築山古墳と呼ばれている。

そのちょっと北側、水田の中に、見事に盛り上がった丘があった(写真⑪)。ははアこれは円墳だなどと思って説明書を読むと「端山古墳。怡土平野最大の前方後円墳」と記されている。方形の部分が削られてしまったらしい。

いずれにせよ、静かな田舎道をぶらぶら散策していると、いくつもの古墳を見ることが

できるというのは、さすが伊都国の地ならうではの風景である。

ところでさて、古代遺跡ばかりではいささか退屈だよ、という御仁には、前にふれた怡土歴史資料館の目の前にある「伊都民俗資料館」をお勧めしよう。今では懐かしくな

った民具の数々が展示されている(写真⑫・⑬・⑭)。そこで独りて楽しむもよし、子や孫などの若い人に語って聞かせるのもいい。今はむしろ、そうした語り聞かせがもつとなされるべき時代かもしれない。入館は無料。細石神社や三雲東

公民館の東南東およそ600m。

川原川をはさんだ東隣にはファームパークが作られていて、土地の産物を少し安めに求めることができる上に、いい休憩場所としても利用できる。敷地には古代の家屋が再現されている(写真⑮)。

「あし」右(本文)の順序で歩くにせよ、逆の道すじをたどるにせよ、JR波多江駅とJR前原駅から昭和バスが出ている。所要時間約15分で「平原古墳入口」で下車するか、逆ならば「高祖」での下車が近い。